

あした

## 明日もしあわせ通信 (第87号) 令和5年9月号

### 孫、まご、まごつく孫育て

我が家に里帰り出産のために、娘と孫がやってきた。孫は、K君2歳。娘が赤ちゃんを連れて退院した。K君に「弟ができたね、うれしいねえ。」と声をかけると、「弟？おとうと？……段差があっておとっと。」と答えた。よくしゃべる子だが、弟という単語がなかったのか、お笑いの素質があるのか、笑ってしまった。

犬を連れて、JR南伊予駅まで散歩に行った。ここは車両置き場でもあって、普通列車や特急列車が通る間に、回送列車の出入りがあり、電車の好きなK君は大喜び。特急が目の前を通過すると風圧がすごく、「ギャー」とおたけびをあげる。普通列車には、バイバイと手を振って見送る。車掌さんが手を振ってくれると満面の笑み。ある日、ワンマンの運転士さんが、「プワン」と警笛を鳴らしてくれた。「ぼくのために、ぼくだけのために、鳴らしてくれた。」と大はしゃぎ。退屈しないので、1時間以上駅から動きません。何とか折り合いをつけての帰り道、犬は、小川に入って歩くのが日課。ふと、振り返るとK君も小川に入り、靴もズボンもビショビショ。

こんな毎日も2か月がたって、お別れとなった。愛犬に顔をくっつけて耳を引っ張りながら、さよならを言っていた。その後、棒で犬をたたき、鍋の飲み水をバシャーとかけた。



孫育ても体力勝負。夕方、ヤレヤレと思うが、ばあさんも犬も何となく物足りなさを感じながら散歩に行った。(T. T)



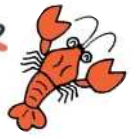
### 教育支援教室「はばたき」 第2学期、いいスタートを！

夏休みが終わり、第2学期が始まりました。例年、この時期に子どもが学校に行きにくくなることがあります。その原因の一つとして、「夏休み中の宿題ができていないので学校に行きたくない。」という子どもが増えているように思います。この場合、家庭と学校が連携して、できるところまで頑張った子どもの思いを理解し、安心して登校できる働きかけが大切だと思います。



はばたき教室では、夏休み中も午前中に教室を開放しました。宿題に悪戦苦闘しながら必死で取り組んだり、教科書とワークを使って問題を解答したりするなど、黙々と学習に取り組む教室生の姿が見られました。一方で、夏休みはゆっくり休んで、心と体のエネルギーの充電を図るべき重要な時間です。「通室」と「充電」のバランスを調整しながら、いい第2学期のスタートを切れることを願っています。そして、教室生一人一人の状況に応じた支援を継続して、その成長を見守りたいと思います。(T. S)





はじめまして、こんにちは。4月より伊予市「こども家庭センター」に仲間入りさせていただいた心理カウンセラーの山本美佳です。

二学期になりました。運動会の練習も始まります。熱中症には気を付けてくださいね。

運動するとお腹が空きますね。皆さんはどんな食べ物が好きでしょうか？ポテト・餃子・カレーなど色々ありますが、好きな物ばかりを食べていたら叱られるのは、今も昔も同じかな～。

子どもたちに好きな物を聞くと、「〇〇は食べられないんよ」と返事をしてくれます。子どもなりに食べられない物がある事を、気にしているようです。「食べず嫌いなんよ」と答えが返ってくると、思わず笑ってしまいます。子どもたちに、食べられない物をほんの少しだけ食べていると、美味しくなってくると思うよと伝える時があります。「えー」と言いながら恐る恐る食べる子どもを褒めたり、皆で応援しあったりします。マスクを外して、みんなで楽しい雰囲気の中で食事をする事ができるようになりました。みんなで食べると美味しくなる！！一人より二人、二人より三人でしょうか。『子育てお悩み相談』も同じです。

お話をされると整理されていく事もあるようです。最近目についてきた事や困った事など、いつでも気軽に相談に来てくださいね。(Y. M)

## ＜おおぞら通信＞

### あなたとあなたの家庭を支援していきます

6月。おおぞらを利用しているAさんが、一つ一つ丁寧に蒔いたひまわりの種。太陽の光をいっぱい浴び、勢いよく成長し、かわいい花が咲きました。

太陽の動きに合わせて頭を追いかけるように咲くので、「向日葵」と呼ばれています。



大空に向かって明るく大きな花を咲かせることから、希望や活力、明るい未来の象徴とされ、花言葉は「あなただけを見つめる」と紹介されています。

子どもの居場所「おおぞら」。ここから繋がり、広がる空間がきっとあると信じます。原則、小中学生のあなたとあなたの家族を支援していきます。お子様の不登校やひきこもりで、困ったり、悩んだりしている保護者の皆様、まずはお電話でのご相談をお待ちしております。(K. H)

(☎ 989-5014)

## 発達支援巡回相談

### コロナの後

今年度始まってずっと、ウイルス性の病気が流行っています。8月の巡回で「コロナの後にはインフルエンザ、インフルエンザの後にはアデノウイルス、RSウイルス、ヘルパンギーナ、それから今は、ヒトメタニューモウイルスとずっと流行っていて子ども達がそろそろありません。」と園長先生からお聞きしました。特にインフルエンザの流行は冬とばかり思っていましたので、驚くばかりです。

マスク、消毒の徹底や、友だちとの接触を避けるように心掛けていた日々が5類になり緩和されたこと、細菌に触れない生活で抵抗力が下がっていることなどが要因と考えられます。年齢が低い子ほど重症化が心配されるので、早めに対応する必要がありますようです。免疫力を高めるよう、生活のリズムをとり、栄養や運動に気をつけましょう。

そして、元気に秋の行事に参加したいですね。(K. A)

伊予市こども家庭センター

伊予市尾崎3-1

総合保健福祉センター2階

(電話) 089-989-6226

